会議の名称	第２回茨木市水道・下水道事業審議会
開催日時	平成 30 年 10 月９日（火） （午前・(午後) １ 時 00 分 開会 （午前・(午後) ３ 時 35 分 閉会
開催場所	福祉文化会館 302 号室
議　　長	仲上　健一
出 席 者	仲上　健一 【以上、学識経験者　１名】 宮内　潔、西川　幸一 【以上、事業関係者　２名】 八木　香織、佐名川　玲子 【以上、利用者団体から推薦された者　２名】 久保田　道孝、柴田　桂 【以上、公募市民　２名】 【７名】
欠 席 者	岡崎　利美　【以上、学識経験者　１名】
事務局職員	大塚副市長、福岡水道事業管理者職務代理者水道部長 吉備水道部次長、池田水道部副理事兼営業課長、 野口水道部副理事兼浄水課長、松本水道部総務課長、 酒巻水道部工務課長、杉林水道部総務課参事兼企画係長、 池田水道部総務課長代理兼経理係長、前田水道部総務課総務係長、 水道部総務課企画係職員（２名） 鎌谷建設部長、田邊建設部次長兼下水道総務課長、 藤岡建設部下水道施設課長、中田建設部下水道総務課参事、 吉村建設部下水道総務課長代理兼計画係長、 渡邉建設部下水道総務課総務係長、 建設部下水道総務課総務係職員（１名） 【19 名】
開催形態	公開
議題（案件）	(1) 第１回審議会における「水道事業経営戦略」の修正等について (2)「水道事業経営戦略」の投資・財政計画について (3) 第１回審議会における「下水道等事業経営戦略」の修正等について (4)「下水道等事業経営戦略」の目指す将来像とこれを実現するための方針について (5)「下水道等事業経営戦略」の投資・財政計画について (6) その他

配布資料	（配布資料） 　会議次第 　経営戦略差替え分 　資料－１　水道事業経営戦略（案）修正箇所一覧 　資料－２　下水道等事業経営戦略（案）修正箇所一覧 　資料－３　下水道事業の財務の仕組み

会　議　録

議　事　の　経　過	
発言者	議 題（案 件）・発 言 内 容・決 定 事 項
（開会） 松本課長	定刻となりましたので、ただいまから、第２回茨木市水道・下水道事業審議会を開催させていただきます。 本日の審議会委員の出席状況についてご報告申し上げます。 委員総数８名のうち、出席者７名、欠席者１名でございます。 それではこれより審議をお願いいたします。
仲上会長	ただいま事務局よりご報告がありましたとおり、過半数の委員のご出席をいただいておりますので、茨木市水道・下水道事業審議会規則第６条第２項により、本会議は成立いたしております。 なお、本審議会は公開としております。本日、傍聴希望者はおられますか。
松本課長	本日、１名の傍聴人が来られています。
仲上会長	本日、傍聴人がおられますので、傍聴要領に基づき入室していただいて結構です。 【傍聴者入場】
仲上会長	それでは、これより案件に入らせていただきます。 案件１「第１回審議会における「水道事業経営戦略」の修正等について」、事務局より説明を受けたいと思います。 よろしくお願いします。
杉林参事	第１回審議会における「水道事業経営戦略」の修正等について、ご説明いたします。 こちらは水道事業経営戦略（案）の修正箇所につきまして、まとめたものです。まず、上の表につきまして、第１回審議会において委員の皆様からいただきましたご意見をもとに、経営戦略の（案）を２か所修正いたしました。 （「資料１　茨木市水道事業経営戦略（案）修正箇所一覧　第１回審議会分」について説明） その他の修正といたしまして、資料１の１枚目の下表のとおり、経営戦略（案）を修正しております。

議　事　の　経　過

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	（「資料１　茨木市水道事業経営戦略（案）修正箇所一覧　その他の修正分」について説明）
仲上会長	ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問はありますでしょうか。今の説明を踏まえまして、ご了解いただけましたら確定ということにしたいと思います。 よろしいですか。それでは、ご了解いただいたということで確定させていただきたいと思います。 次に、案件２「水道事業経営戦略」の投資・財政計画について、ご説明をお願いします。
杉林参事	（「第４章　投資・財政計画　１．水道事業経営の原則と経営戦略の考え方」、２．投資計画　（１）投資目標」について説明）
仲上会長	バックアップ率は重要な意味を持っていますが、目標を 60％にされた根拠は何ですか。
福岡部長	経営戦略の中に施設更新計画を反映しているので、反映後の整備を行っていけば結果として 60％まで向上できるということです。
柴田委員	耐震化済み重要給水施設数が 29 か所中現状で０か所というのはなぜですか。１とか２か所であってもいいと思うのですが理由があるのですか。
吉備次長	配水池から重要給水施設までの全ての配管が耐震管になると耐震化済み重要給水施設数が増加するわけですが、途中で耐震化できていない部分があり、現状０か所となっています。今年度の整備が終わると、重要給水施設の救急病院が１か所耐震化済みとなります。
宮内副会長	全部で 29 か所というのは 35 ページで数字が出てきますが、24 ページでも数を書いておいたらいいのではないでしょうか。重要給水施設の注釈のところに何年現在で 29 か所というのを入れておいたらいかがでしょうか。 また、本文では、「これらのみでは」という表現がわかりにくいと思います。後には統廃合の話があるのでそういう意味で使っているかと思いますが、「これらのみでは」は削除し、「一方では給水原価の増加につながる」というくらいの表現にとどめておいて、さらにその後の「持続的な経営が困難になる」とまでは書かなくてよいのではないでしょうか。また、次のページのアセットのところで施設の長寿命化の話が出て来るので、ここで

議　事　の　経　過	
発言者	議 題（案 件）・発 言 内 容・決 定 事 項
	も、施設・設備の統廃合と並べて書いておいたらどうでしょう。
福岡部長	表現を改めるよう検討します。
西川委員	管路の更新率について、目標の１％以上というのは全体の管路に対しての更新率が書かれていると思いますが、全体のうち更新の必要な部分がどのくらいあって、そのうちのどれだけをやるという部分が見えていない。全部を更新する必要はないと思いますが、全体の管路を 100 としてそのうちの１％以上としているので、これだけを見るとこの目標でいいのかわからない。先程の、重要給水施設数が全部でいくつあって、そのうちのいくつの耐震化が必要で、そのうちのいくつを目標とするかという話と同じように、もう少しわかりやすく表現できませんか。
吉備次長	24 ページでは目標値しか書いていませんが、35 ページの実施計画の部分で、10 年間で更新すべき管路を抽出すると約 76km であり、計画どおり更新すると１％となることを表現しています。
西川委員	重要給水施設数と同様に、脚注の部分に書かれてはどうですか。
福岡部長	24 ページの脚注に入れさせていただきます。
仲上会長	更新すべき対象については何％かを括弧書きにするなどするとわかりやすい数値になるかと思います。
宮内副会長	水道事業ビジョンの中にはこれからどれくらいの更新需要の延長が出て来るか書かれています。経営戦略でもわかりやすくするためにはそういう情報が最低限あったほうがいいのではないですか。
久保田委員	技術革新についても織り込んではどうですか。たとえば、本文の下から２行目、「同時に進め、」の後に、「省エネ、耐久性などに確実な効果が認められるような新技術についてはこれを取り入れる。」という案です。
仲上委員	技術革新がかなり進んでいますので、現段階における将来の更新率の問題も、技術革新によってかなり数字も変わってくる可能性もありますね。 次の説明をお願いします。
杉林参事	（「第４章　投資・財政計画　２．投資計画　（２）水道事業ビジョンを

議　事　の　経　過	
発言者	議 題（案 件）・発 言 内 容・決 定 事 項
	踏まえた投資計画」図表 4-4 までについて説明）
仲上会長	図表 4-2 の法定耐用年数と目標耐用年数の設定はどのようにしていますか。
吉備次長	法定耐用年数とは、あくまで固定資産管理のために地方公営企業法で定められている耐用年数です。一方、国がアセットマネジメントマニュアルを例示しており、その中で建築では 70 年、土木なら 73 年といった形で一定の指針を示しています。本市では国のマニュアルを基本に本市におけるこれまでの実績や重要度合いを踏まえて目標耐用年数を設定しています。本市は、北摂他都市に比べると厳しく設定しています。
宮内副会長	更新実績を使うということに対して、どのように正当性があるのかもう少し表現できないですか。
福岡部長	総務省の考え方として各市の実情に合った更新基準を設定するという考え方がありますので、そのような記載を入れることで独自の基準を設けていることに対し正当性を表現することができると思うので、検討します。
八木委員	根拠が分かるようにした方がいいと思います。また、北摂他市に比べて厳しい設定なのであれば、何らかの形で表現してもいいのではないですか。
佐名川委員	アセットマネジメントにより費用負担が半分になっているのでこれだけでいけるのか心配に感じています。あとで市民に負担がかかってくるので、努力が必要になるのではと心配です。
福岡部長	資産の法定耐用年数は会計処理のための減価償却の考え方にすぎないので、その辺をわかりやすくした上でいただいたご意見を書かせていただくと現状との差が見えやすくなると思いますので、工夫します。
西川委員	図表 4-2 の「アセットマネジメント手法による更新」という言葉は少しニュアンスが違うのではないですか。ここでは、こういう形で茨木市の目標耐用年数を設定しました、というようなコメントがいいのではないですか。また、耐用年数を見比べると倍にはなっていないのに年間の投資額が半分になるのがなぜか、それは、ならすとこうなるということだと思いますが、それも表現してあげると、なぜ半分になるのかわかりやすいと思います。

議　事　の　経　過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
宮内副会長	施設の長寿命化・施設の統廃合・更新費用の抑制と平準化という３つのキーワードを含んでいるがアセットマネジメント手法ですが、今の文章で（25 ページ）では、３つのキーワードとアセットマネジメントが別のもののように思えてしまいます。アセットマネジメントの中にこの３つの手法が入っているということがわかるようにした方がいいのではないですか。
福岡部長	アセットマネジメントには財政収支まで入ってきますので、「アセットマネジメント手法とは」という項目を一つ設けさせていただいて、その中で一つのやり方として更新基準を見直した、というような表現を検討します。
宮内副会長	図表 4-2 で「土木」というのは、一般には浄水場の沈殿池、ろ過池や配水池などの構造物をさすと思いますが、このままでは何をさすのかイメージがわきにくいので変えたらどうでしょうか。
吉備次長	説明の追加を検討します。
仲上会長	それでは、次の説明をお願いします。
杉林参事	（28 ページから 32 ページまでについて説明）
仲上会長	施設の統廃合については計画ではなく決定なのですか。
吉備次長	野々宮配水場と花園配水場については、今年度の予算で準備を始めています。安全性を確保しながら効率性を確保していくよう、統廃合を進めていきます。残りの４か所については施設の老朽化に合わせて統廃合を行います。
宮内副会長	施設の統廃合によって更新費用が 28 億円抑えられるということですが、45 か所から 39 か所になることで維持管理費や運転管理費はどのくらいの費用の差が出るのですか。
吉備次長	動力費については、これまでも効率化に努めてきたため大きくはありませんが、年に 2.7%、約 300 万円の削減効果が見込まれます。点検・修繕費については手元に数字はありません。
宮内副会長	小さくても言葉だけでも書いておいた方がいいと思います。運転管理や

議事の経過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	維持管理など、金額までは書かなくても項目を書いてはどうでしょう。
仲上会長	それでは、次の説明をお願いします。
杉林参事	（33 ページから 37 ページ図表 4-13 までについて説明）
仲上会長	図表 4-11 について、既設管路の 780km から 76km を選定したことについて、専門的に検証してこういう数字になったのですか。
吉備次長	物理的評価と重要度評価を行い、選定しています。
柴田委員	図表 4-13 で 2027 年度までに鉛製給水管の解消と書いていますが、今どのくらいあるのですか。
吉備次長	平成 29 年度末で約 2,800 か所です。
八木委員	それはどこかに記載されていますか。数値がないと、可能そうなのかどうかがわからないので、どこかに書いておいた方がわかりやすいのではと思います。
吉備次長	水道事業ビジョンに鉛管の記載がありますので、要約して経営戦略にも記載します。
八木委員	図表 4-6 の統廃合前の図では馬場配水池の配水区域が山手台高区配水区域を示すピンク色になっていますが、図表 4-7 の統廃合後の図では清阪配水池配水区域を示すオレンジ色になっているのはなぜですか。
吉備次長	山手台高区配水区域を示すピンク色が正しいですので、修正します。
杉林参事	（「第４章　投資・財政計画　２．投資計画　（３）経営の合理化・効率化に向けた取組み」について説明）
宮内副会長	38 ページの包括委託の考え方について、市に残すものはどういうものを残すかという説明はいりませんか。管理者権限のあるものや苦情、トラブルの対応などノウハウのいるものは市に残るでしょうし、仕分けをしたのはどういう考えに基づいているのかというのがあればわかりやすいと思います。

議　事　の　経　過	
発言者	議 題（案 件）・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡部長	仕分けの考え方の追記を検討させていただきます。
杉林参事	（「第４章　投資・財政計画　３．財政目標、４．投資・財政計画（収支計画）、５．投資・財政計画の総括」について説明）
仲上会長	収支計画について、消費税は含んでいるのですか。
松本課長	収益的収支については税抜き、資本的収支については８％の税込みで記載しています。
柴田委員	図表 4-16 について、2018 年度の建設改良費が群を抜いて高いのはなぜですか。先程の話にあった統廃合の影響ですか。
吉備次長	現在城の前町から戸伏町までの間の基幹管路の耐震化を進めているところであり、その工事の多くが今年度完了するためその支出が増えています。また、彩都東部地区の開発に合わせて山手台送水ポンプ場を更新する工事などが重なったため、支出が増えたものです。
仲上会長	特殊要因については小さい字であっても書いていただいた方がよいのではないかと思います。
宮内副会長	39 ページについて、財政目標の設定方針の冒頭部分に「必要な投資を行いつつ」などの文言を入れ、経営に配慮しつつ必要な投資も行っている旨を記載してはいかがでしょうか。 資金残高の水準について、水準は妥当なのですか。このくらいが妥当だという判断はどこから来ているのですか。
吉備次長	建設改良費の支払いは４月が最も多くなるため、３月末時点で４月に業者への支払いが可能となる金額である 15 億円を残し、また日々の運転資金として 10 億円を残すため、合わせて 25 億円としています。
宮内副会長	資金残高の上限は設定していないのですか。図表 4-16 では資金残高が 2027 年度時点で 41 億円まで増えていますが、そこまで増えるのであればその資金を投資に回さないのかという話になるので、「2028 年度以降に投資のピークが来るので資金を残しておくことが妥当である」というような文言があった方がいいのではないですか。

議　事　の　経　過

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
福岡部長	48 ページの本文４行目終わりからの部分に「20～30 年先に更新需要のピークが来る見込みとなっている」という記載はあります。
宮内副会長	将来を考えるとこのようなグラフになるのが適正なのだということをもう少しはっきりと書いておいた方がいいのではないですか。また本文７行目に「企業債の効果的な活用」という言葉が出てきていますが、後ろにずらした方がいいのではないですか。下から２行目、「市民負担の抑制に留意しながら」の後ろにいれて、「料金のあり方」の前に「世代間の公平性を考えた上で」というような言葉も入れたらいかがですか。
仲上会長	難しい部分ですので、いただいた意見をもとに検討していただけたらと思います。ここで５分間の休憩を挟ませていただきます。14 時 45 分より、審議を再開しますので、よろしくお願いいたします。 （再開）
仲上会長	定刻となりましたので、審議を再開いたします。 案件３「第１回審議会における「下水道等事業経営戦略」の修正等について」、事務局より説明を受けたいと思います。
中田参事	（下水道等事業経営戦略（案）の修正箇所について説明） ・決算額確定に伴う修正 ・他団体と比較した経営状況について、表の追加と外側ほど良い値となるようにグラフを修正 （下水道事業の財務の仕組みについて説明） ・雨水公費・汚水私費の原則
仲上会長	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見・ご質問はよろしいでしょうか。
委員全員	（意見なし）
仲上会長	よろしいですか。 それでは、了解とさせていただきます。

議　事　の　経　過

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
仲上会長	次に、案件４「「下水道等事業経営戦略」の目指す将来像とこれを実現するための方針について」、ご説明をお願いします。
中田参事	（第４章　本市下水道等事業の目指す将来像とこれを実現するための方針について説明）
仲上会長	何かご意見はございませんでしょうか。
委員全員	（意見なし）
仲上会長	次に、案件５「下水道等事業経営戦略」の投資・財政計画について、説明をお願いします。
中田参事	（第５章　投資・財政計画　のうち　1. 投資計画　について説明）
仲上会長	ただいまの説明に対しまして、ご意見・ご質問はありませんでしょうか。
西川委員	26 ページの表 5-2 ですが、老朽化対策の目標として、緊急度Ⅰの管渠の割合を現状の 5%から 0%に下げるとあります。緊急度Ⅰの管渠が実際に何 km あるか等は把握しているのでしょうか。
中田参事	現在取組んでおりますストックマネジメント計画の策定におきまして、実態調査を行う予定ですので、緊急度Ⅰの管渠が実際に本市で何 km あるか等は分かっていない状況です。そのため、国土交通省が公表している予測式を用いています。 緊急度Ⅰという分類が一番悪い状況の管ですので、今後 10 年間で無くしていく方針で老朽化対策を進めたいと考えています。
久保田委員	老朽化とは、例えば、硫化水素による腐食等を指しているのでしょうか。
田邊次長	はい。硫化水素等によって中が腐食した管の対策等を考えています。
西川委員	老朽化対策と地震対策の使い分けですが、28 ページの表 5-4 を見ると、合流管への対策が地震対策で、汚水管の分が老朽化対策、という使い分けをしているということでしょうか。
中田参事	茨木市下水道総合地震対策計画に基づくものを地震対策と位置付けてい

議　事　の　経　過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	ます。
吉村課長代理	本市の南部に大池ポンプ場がございまして、大阪府の管理する下水処理場の中央水みらいセンターへつながっています。このルートが一番重要な幹線と位置付けており、大池ポンプ場につながる幹線を含めて地震対策を進めていく計画です。これらの幹線は合流管ですので、当面の地震対策は合流管を対象としています。
西川委員	分流汚水管は、すべて老朽化対策とするのですか。
吉村課長代理	汚水管は老朽化対策で考えています。
西川委員	28 ページの表 5-4 にあるように、老朽化対策の対象は汚水管、地震対策の対象は合流管を想定しているということでよろしいですね。
吉村課長代理	2027 年度からは合流管も老朽化対策の対象としていますが、2019 年度から 2026 年度までは、分流汚水管を対象に老朽化対策を計画しています。
田邊次長	路線が違うと考えていただけたらいいと思います。 茨木市の管理する大池ポンプ場から、大阪府の管理する下水処理場までの管路は地震対策で進めていきます。この区間の管路は合流管になります。それと並行して、地震対策を実施する管路以外の市内一円の管路のうち、老朽化している部分を老朽化対策として進めていきます。 ただ、2026 年度までは、汚水管を中心に老朽化対策を進め、その後、雨水管や合流管も進めていくという予定です。
西川委員	表 5-4 の通り計画的に進めていくということですね。
田邊次長	そうです。
八木委員	地震対策と老朽化対策の違いは何ですか。
田邊次長	老朽化対策は、主に経年劣化による機能不全を防ぐために行うものです。布設から何十年も経つと、徐々に管自体が痛んできます。それを新しくするのが老朽化対策です。 地震対策は、地震によって生じる揺れで、管がずれたり破断したりして、下水管としての機能を果たさなくなることを防ぐために行うものです。

議 事 の 経 過

発言者	議 題（案 件）・発 言 内 容・決 定 事 項
仲上会長	地震対策は、どのくらいの震度を想定していますか。
田邊次長	震度を想定しているのではなく、管路の地震対策は、揺れによって生じる地盤のひずみや土壌の液状化に対応できる対策を取るということになります。
仲上会長	今年起こった大阪府北部の地震では、茨木市内で液状化はありましたか。
田邊次長	特にありませんでした。
西川委員	28 ページの図 5-2 の、間接費とは何ですか。
中田参事	事務費です。
西川委員	これは入れる必要があるのですね。
田邊次長	そうです。
宮内副会長	老朽化対策は、耐震化も兼ねるのですか。
田邊次長	大きな考え方として、幹線管渠で鉄道の下や河川の下など、将来やり替えが簡単にできない所については、地震対策という形で行います。道路を掘って管を入れていくところは、被災後の復旧も比較的容易ということで、そこまで積極的な地震対策は行っていません。 場所によって地震対策で行うのか、老朽化対策で行うのかは使い分けています。
宮内副会長	地震対策の中身としては、管本体の材料を変えるのですか。
田邊次長	管の内壁を厚くして強度を上げる等の対策をしています。その際、よく流れる材質を使っています。
仲上会長	それでは、次の説明をお願いします。
中田参事	（第５章　投資・財政計画　のうち ２．財政計画

議　事　の　経　過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	3. 投資・財政計画（収支計画） 4. 投資・財政計画の総括　について説明）
仲上会長	ただいまの説明について、ご意見・ご質問はありませんでしょうか。
八木委員	30 ページの表 5-6 の資金残高ですが、現状 3.6 億円であるものが、20 億円～40 億円程度の範囲内で維持できる理由について、再度説明をお願いします。
中田参事	現在は資金が足りないために、一般会計から基準外繰入金として補助を受けている状況です。ただし、2017 年度に下水道使用料を改定したことで、近々基準外繰入金がなくなる見込みです。そうしますと、資本的収支の補填財源として充当しなくて済む分が徐々に増え、その結果、資金残高が増えることになりますので、公営企業として自立した経営が行えるようになります。
八木委員	3.6 億円がいきなり 20 億円となる、と誤解を招かないよう、簡単に一言説明された方が分かりやすいと思います。
中田参事	目標だけを見ますと、急に増加しているようですが、38 ページに資金残高の推移をグラフの中に入れています。これが 2023 年度あたりまでに徐々に増加する予測をしています。2024 年度に一旦下がるのは、企業債の発行を抑制する関係です。その後また増加し、経営戦略期間中では 20～40 億円の範囲となるのではないかという見込みを立てています。
仲上会長	流れと考え方は分かりましたが、今、八木委員が言われたような説明があった方が分かりやすいと思います。
田邊次長	30 ページの表 5-6 の下の余白などを使って、注釈を入れることを検討します。
八木委員	31 ページの図 5-4 で 2024 年度だけにある「その他の支出」とは何ですか。
中田参事	資金繰りの関係で、公営企業会計を導入した 2015 年度に一般会計から貸付金を受けています。その返還が 10 年後の 2024 年度になっております。

議　事　の　経　過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
八木委員	ここしかないのですね。その他の支出で、2024年度だけ突出していると、何かな？と思ってしまいます。どこかに記述することをご検討いただけないでしょうか。
中田参事	検討します。 見掛け上は、2024年度のみあるようになっていますが、各年度計上しています。但し、他の年度は額が小さいため、表示されていませんので、そのあたりの表記についても検討します。
宮内副会長	38ページの図5-5と30ページの表5-6を見比べて、資金残高と繰入金は目標を達成しています。 ただ、2017年度の企業債残高対事業規模比率は432％で、企業債残高は282.7億円です。2028年度には企業債残高が314.4億円まで増えるのに、企業債残高対事業規模比率は400％以下の目標を達成できるのでしょうか。
中田参事	企業債残高は、雨水・汚水分を含めた企業債残高で、合計で約300億円あるのですが、企業債残高対事業規模比率は、下水道使用料に対する汚水分の企業債残高の比率となっており、分子である企業債残高が異なりますので、差異が生じてきます。
宮内副会長	できれば、財政目標が達成できる収支計画であるということが、文言を入れるか、図を修正する等工夫して、分かりやすくどこかで表現されているといいのですが。
田邊次長	例えば、目標値を図5-5に記載するなど、今のご意見を踏まえて、検討します。
西川委員	38ページで、資金残高が最終年度で約28億円であれば、目標金額の上限を、例えば30億円としても良いのかなと思うのですが、40億円にしている理由は何ですか。
中田参事	今回の経営戦略の期間中は、資金残高が30億円程度になる見込みですが、下水道事業会計として、今後も資金残高が増え続ける状況が続きますと、何らかの対応が必要になりますので、上限として40億円を設定しています。
田邊次長	この10年は図5-5のような推移ですけれども、長いスパンで見るともう

議　事　の　経　過	
発言者	議 題（案 件）・発 言 内 容・決 定 事 項
	少し増える可能性があるため、20～40 億円と幅を持たせています。 一旦少し下がりますけれども、その後は右肩上がりになる予測をしており、今回の経営戦略期間の 10 年、プラス 10 年 20 年を踏まえた設定にしています。
西川委員	資金残高は、資金ショートしない設定とすることが前提と思います。そのため、資金残高をむやみに上げる必要はないと思いますし、逆に、増えすぎるのであれば、耐震化などの投資を増やしていけばいいと思います。30 億円で良いのであれば 30 億円を目標として、事業を逆に増やしていけると思いますし、40 億円が必要なのであれば、40 億円という目標でもいいと思いますが、そのあたりの考え方が分かりにくいように思います。資金残高の設定額について、補足説明が必要と思います。
宮内副会長	上水道と同様に、今後 10 年間で施設更新等に伴う支出の増加が想定されていますので、これに備えるために資金残高が増加するとしても妥当性はあると思います。
田邊次長	額の検討も含めて考え方を補足します。
仲上会長	今回の経営戦略は、2028 年度までとなっていますが、例えば 2050 年までで見た場合に、目標が 40 億円くらいであっても妥当であるなど、長期の展望から設定した旨を記載することが良いのかも含めて検討してください。
仲上会長	それでは、予定の議事は終了しましたので、これで閉会したいと思います。
松本課長	（次回の日程調整）
	以上